

生分解性インシュロック

植物由来の生分解性プラスチック

循環型社会の形成に貢献

植物由来のプラスチックであるポリ乳酸を主原料としており、石油由来のプラスチックに比べ枯渇性資源への依存度が低いため、循環型社会の形成に貢献する地球環境にやさしい製品です。



CO₂ 削減に貢献

ポリ乳酸は燃焼時の CO₂ 排出量が他のプラスチックに比べて少ないため、CO₂ 削減に貢献します。



水と二酸化炭素に分解

コンポスト（堆肥化）装置などの適切な環境下で、温度・湿度などの影響による加水分解、その後微生物による生分解が起こり、最終的にほぼすべてが水と二酸化炭素に分解します。

通常的环境下ではほとんど分解しないため、従来のインシュロックと同じように使用できます。



生分解性インシュロック

標準グレード

屋内使用



色 白

材質 ポリ乳酸 (PLA)

常時使用温度範囲 -40℃～+85℃



トウモロコシなどの植物由来のプラスチックであるポリ乳酸*1を主原料としており、石油由来のプラスチックに比べ枯渇性資源への依存度が低いため、循環型社会の形成に貢献する地球環境に優しい製品です。

コンポスト*2(堆肥化)装置などの適切な環境下で処理することで、温度・湿度などの影響による加水分解、その後微生物による生分解が起こり、最終的にほぼすべてが水と二酸化炭素に分解します。

通常的环境下ではほとんど分解しないため、従来のインシュロックと同じように使用できます。ポリ乳酸は燃焼時のCO2排出量が他のプラスチックに比べて少ないため、CO2削減に貢献します。

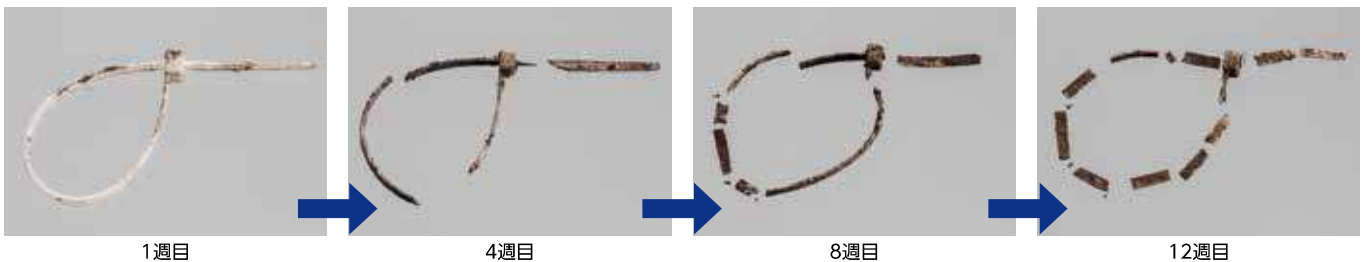
*1：ポリ乳酸とは植物が生成したデンプンや糖を原料とするバイオマスプラスチックであり、条件が整った環境下で微生物によって分解される生分解性プラスチックです。

*2：コンポストとは生ごみや落ち葉、枯れ草などの有機物を微生物の発酵分解によって堆肥化するための装置です。

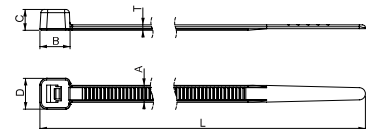
分解性能

BDGシリーズは通常の室温環境下ではほとんど分解しませんが、コンポストなどの適切な環境下で分解させることができます。

コンポスト内での崩壊の様子 (ISO 16929 に基づく)



3週目ごろから分解による破断が起き始めました。12週目には更に分解が進み、手で触っただけで脆く崩れるような状態となりました。



Article-No.	型番	結束径 φ(mm)	寸法(mm)						ループ引張強度 (最小値) N (kgf)	販売単位(本)		適用工具*3
			全長L	幅A	B	C	D	T		袋	ケース	
111-90010	BDG100	4.0~22.0	100	2.5	4.8	3.5	4.8	1.1	80 (8.16)	100	30,000	EVO7SP, MK8, MK8-LT
111-90015	BDG150	5.0~36.0	153	3.5	6.4	4.4	6.5	1.2	130 (13.26)	100	20,000	EVO7SP, MK8
111-90020	BDG200	6.0~50.0	202	4.7	6.8	5.9	7.8	1.3	200 (20.39)	100	5,000	EVO7SP, MK8, EVO9SP
111-90025	BDG250	12.0~65.0	252	4.8	9.0	5.0	8.8	1.5	250 (25.49)	100	5,000	EVO7SP, MK8, EVO9SP

*3: 結束工具の詳細は、弊社の総合カタログがホームページをご参照ください。 <https://www.hellermannnyton.co.jp/product/tools.html>



ご注意 地中、水中などにおける生分解する速度はその環境により大きく異なります。よって、生分解の速度は一律に特定することはできませんので、ご了承ください。

弊社商品、サービスについてのご質問・ご要望はウェブサイト、あるいは、弊社営業オフィスまでお問合せください。

ヘラマンタイトン株式会社

ISO9001・ISO14001 認証取得

- 東京オフィス
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-48-3 住友不動産笹塚太陽ビル 6F
●関東販売課 / TEL: 03-5790-3113 FAX: 03-675-3255
●オートモーティブ事業部 / TEL: 03-5790-3125 FAX: 03-683-7883
- 仙台オフィス
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 1-9-1 仙台トラストタワー 18F
●東北販売課 / TEL: 022-722-1057 FAX: 022-722-1058

ヘラマンタイトンウェブサイト
www.hellermannnyton.co.jp

- 名古屋オフィス
〒460-0008 名古屋市中区栄 2-3-1 名古屋広小路ビルディング 4F
●中部販売課 / TEL: 052-229-1052 FAX: 052-687-1453
●オートモーティブ事業部 / TEL: 052-229-1053 FAX: 052-687-3115
- 大阪オフィス
〒532-0003 大阪市淀川区宮原 3-3-31 上村ニッセイビル 12F
●関西販売課 / TEL: 06-6395-8610 FAX: 06-6485-4897
●オートモーティブ事業部 / TEL: 06-6395-8427 FAX: 06-6485-4897
- 福岡オフィス
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-6-1 九動筑業ビル 3F
●九州販売課 / TEL: 092-481-8780 FAX: 092-481-8778

KYORITSU
協立電業株式会社

〒190-0023 東京都立川市柴崎町3-9-5
TEL: 042-548-8881(代)
FAX: 042-548-9101(代)

- 写真商品色は、実際の色と異って見える場合があります。
- 改良のため、仕様ならびに外觀・寸法などは予告なく変更する場合がございます。●本誌は、2022年3月現在のものです。